

明石工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	フランス語-1	
科目基礎情報							
科目番号	5412			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	都市システム工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	釣馨・武内英公子『私だけのフランス語ノート』朝日出版社						
担当教員	藤本 智成						
到達目標							
近年のグローバル化の流れの中で、多言語主義、多文化主義的観点がますます重要になってきている。国際化によって世界が一樣になるのではなく、種々雑多な文化の共存が必要となる。異文化の学習の最良の方法は、言語の学習であるという観点から、フランス語の学習を通して、多文化・多言語共存社会への対応に慣れていくようにする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	フランス語のしくみを学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に着けることができる。			フランス語のしくみを学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に着けることができる。		フランス語のしくみを学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に着けることができない。	
評価項目2	フランス語の語彙を学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に着けることができる。			フランス語の語彙を学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に着けることができる。		フランス語の語彙を学習することで、フランス語運用能力の基礎を身に着けることができない。	
評価項目3	フランス語の学習を通して、多文化・多言語共存社会に対応できる。			フランス語の学習を通して、多文化・多言語共存社会に対応できる。		フランス語の学習を通して、多文化・多言語共存社会に対応できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	フランス語によるコミュニケーションの基礎を学習する。フランス語のしくみ、いわゆる文法には約束事がたくさんあり、綴りと発音の関係、名詞の性に関する規則、動詞の活用など、一見複雑そうであるが、ある程度習熟すると、突然視野が広がってくるものであり、少ない語彙でかなり高度なコミュニケーションも可能となる。自己紹介の仕方、時候の挨拶など日常会話の基礎的な表現を学習しながら、「聞き、話し、読み、書く」の4技能のバランスのとれた修得を目指す。						
授業の進め方・方法	文法・語彙の説明後、練習問題の演習や基本表現の暗唱などを通してフランス語運用能力の習得を目指す。教科書から離れて、フランス文化や社会について学ぶ機会も設ける。 連絡員：北川千穂						
注意点	外国語の学習には、学習者が本来持っているコミュニケーション能力と想像力を最大限に駆使することが大切であるため、授業への積極的な参加が必要である。また、予習より復習に時間を割いて欲しいと考えている。 評価の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス：授業の進め方 フランスとフランス語に関する一般的な説明		授業の概要を理解することができる。フランスとフランス語の一般的な特徴を理解することができる。		
		2週	第0課 アルファベと発音/挨拶		フランス語の単語が発音でき、挨拶できる。		
		3週	第0課 アルファベと発音/挨拶		1から10までの数字を使うことができる。		
		4週	第1課 自己紹介してみよう！		簡単な動詞の活用ができる。ヨーロッパの国名と都市がフランス語で言える。		
		5週	第1課 自己紹介してみよう！		フランス語で自己紹介ができる。		
		6週	第2課 国籍や言語について話そう！		名詞の性の規則の基礎を理解することができる。		
		7週	第2課 国籍や言語について話そう！		他の人の名前、国籍、住んでいる町、職業、話す言葉を聞き取ることができる。		
		8週	第2課までの振り返り		何も見ずに、フランス語で自己紹介したり、他の人の情報を理解できる。これらの内容をフランス語で書ける。		
	2ndQ	9週	第3課身の回りのものについて話そう！		語彙を増やし、身の回りのものについて話すことができる。		
		10週	第3課 身の回りのものについて話そう！		20までの数字を使うことができる。フランスの地方と、その名物が言える。		
		11週	第4課 家族について話そう！（1）		69までの数字を使うことができる。動詞avoirとfaireを使うことができる。		
		12週	第4課 家族について話そう！（1）		自分や他の人の家族の年齢、職業について話すことができる。		
		13週	第5課 家族について話そう！（2）		家族の特徴や性質について話すことができる。		
		14週	第5課 家族について話そう！（2）		服装について説明できる。		
		15週	第6課 好きなもの・好きなことについて話そう！		自分が好きなことについて話すことができる。		
		16週	期末試験		9週以降の学習内容を踏まえて、話したり書いたりできる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前1,前2
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	2	前3,前4
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前5,前6,前8
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	2	前7
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前9,前10,前16
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前11,前12
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前13,前14,前16
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前15
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	前4,前6
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	前11,前12,前13,前14,前15
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	前11,前12,前13,前14,前15
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	前11,前12,前13,前14,前15
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	2	前6,前7

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	30	0	20	100
基礎的能力	50	0	0	30	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0